

待ちに待った収穫祭

11月19日は、拳ノ川小学校の収穫祭がありました。

朝から楽しみでわくわくしていました。学校へ行くと、地域の人やお父さん、お母さんたちがたくさん来ていました。

開祭式が終わって、それぞれの料理に取りかかりました。1・2年生は茶きんしほり、3・4年生は山芋汁と栗赤飯、5・6年生はおもちを作りました。私たちが作った茶きんしほりは、畑でとれたお芋で作りました。お母さんたちがむした芋の皮はいだりつぶしたりした後、ラップにのせて、きゅつきゅつと丸めました。数えたら533個もありました。途中で飽きてきて疲れたけど、食べてみるととてもおいしかったです。



(拳ノ川小学校 1年生・2年生)

高知県理科教育研究大会

11月29日は、高知県理科教育研究大会が三浦小学校でありました。4・5年生が理科の授業をみてもらいました。待っている間に、裏の広い駐車場がいっぱいになるくらいにたくさんの方が来ました。

ぼくは、心臓がドキドキしてきました。授業が始まると、よけいに緊張しました。

5年生は電磁石の授業でした。ぼくは、問題をみて、どちらかと言えば簡単だと思いました。200回、100回、50回巻きのコイルを使って、どうやったら強い電磁石ができるか考えました。すると、実験の結果がバラバラになっていました。ぼくは、これでいいのかなあと思いました。ぼくは、結果はそろわなくてはいけません。最初は簡単だと思っていたけど、やってみるとなかなか難しいと思いました。

たくさんの人に見られて緊張したけど、頑張りました。最後にチャイムがなるとホッと力が抜けました。

自分たちで電磁石を作って実験したので、面白かったです。



(三浦小学校 5年 安田 仁成)

一祭合祭大高祭

10月29日、大方高校の文化祭が一般公開されました。今年度の文化祭のテーマは、「一祭合祭大高祭」楽しむちからある限り」でした。

午前中には大方中学校吹奏楽部、午後には一条太鼓の演奏もあり、とても盛り上がりしました。幡多農業高校の乗馬や、海辺の日曜市の皆さんにも参加していただき、いつも以上に充実した文化祭にすることができました。

また、私自身も生徒会執行部として熊本地震に対する募金活動をしました。募金をしていただいた方々に配った大方高校マスケットキャラクタ「かつばあ」のバッジも好評で、もっとかつばあが黒潮町にひろがってほしいなと思う活動になりました。

また、大方高校と地域のかかわりがより深くなれば良いと感じました。

次回の文化祭にもたくさんの方々に参加してくれることを楽しみにしています。



(大方高校 3年 徳廣 英理香)